

2024 年 1 月 11 日

医療法人社団創造会
各部署長

リハビリテーションセンター
関 俊昭 ・ 大蔵 幸子

「 一般病棟におけるリハビリテーションケースカンファレンス開催の提案 」

病院機能評価にて一般病棟でのリハビリケースカンファレンスの施行を指摘されたため以下の目的でカンファレンスを開催いたします。

記

- 1、目 的：早期退院支援のための情報共有
できる ADL の共有
支援課カンファレンスに加えて検討が必要な事例の情報共有 他
- 2、効 果：早期退院・情報共有・ADL 向上
- 3、方 法：カンファシート入力し印刷又は電子カルテ閲覧
司会、書記：リハスタッフの予定
- 4、参加者：医師・看護師・薬剤師・栄養士・入退院支援スタッフ・リハビリスタッフ 他
- 5、時 間：支援課カンファレンス後 10 分程度 （仮）
- 6、場 所：各病棟
- 7、頻 度：必要に応じて

以上

新2階病棟 リハビリテーションカンファレンス（仮）について検討
議事録

日時：2024年1月23日

検討者：作佐部課長・大蔵



検討内容：新2階病棟でのリハビリテーションカンファレンスの在り方について

- ・目的：できるADLの共有

課題の抽出,共有

リハビリ計画にある目標の確認と課題の共有

その他

- ・抽出：支援課カンファレンス後リハビリよりカンファ対象ケースを提示（1例）

参加スタッフの同意の元目的を明らかにして施行日を決定

- ・方法：リハビリによりシート立ち上げ（文書管理）＋入力依頼のお知らせ

司会、書記；現状はリハで施行

- ・時間：支援課カンファ後（5～10分程度）

- ・参加者：医師、看護師、入退院支援課スタッフ、リハビリスタッフ、

薬剤師、管理栄養士、他

- ・場所：新2階病棟

- ・その他：支援課カンファレンスに加えて検討が必要な事例を抽出

早期退院につなげるためタイムリーに行い目標達成につなげる

カンファレンスの目的を明らかにして必要であればシートに

記載することを検討

以上